

## 部品表を使って材料費を簡単に計算

### < どのような業務に？ >

A社では、材料費が高騰する中で頻繁に製品の材料費を計算し、顧客への納入価格と比較して利益が上がっているかを確認する必要性が生じてきた。従来は、年度の切り替え時に材料費の計算をすれば済んでいたため手計算で行っていたが、計算の手間が無視できない状況になってきたので、Excelで計算することにした。

### < 仕事をどう変えたか？ >

今までは製品ごとに帳簿として使用材料表を作り、それをもとに手計算で材料費を算出していたが、

- ・ 品目一覧表と構成品目一覧表を作成し、下の図に示すように品目一覧表には現状単価と試算単価の項目を設定した
- \* 部品表（品目一覧表と構成品目一覧表）については、事例「出庫を簡単にするために出庫表を工夫」を参照して下さい

	A	B	C	D	E	F
1		品目一覧表				
2	品目番号	品目名	ロケーション	単位	単価	試算単価
3	MA01	製品MA01	X01	個		
4	MA02	製品MA02	X02	個		
5	MB01	製品MB01	X03	個		
6	MB02	製品MB02	X04	個		
7	HNO01	本体HON01	C02	KG	120	
8	HNO02	本体HON02	C01	KG	80	
9	MOJ01	文字盤MOJ01	B04	KG	50	
10	MOJ02	文字盤MOJ02	B03	KG	50	
11	MOJ03	文字盤MOJ03	B02	KG	50	
12	MOJ04	文字盤MOJ04	B01	KG	50	
13	BND01	バンド鎖BND01	A02	KG	30	
14	BND02	バンド鎖BND02	A01	KG	20	

単価と試算単価を追加

Excelを使用した後の業務の流れは、以下のように改善された。

- (1) 品目一覧表に試算単価を入力
- (2) 試算単価を設定した品目を使用している製品の検索
- (3) 材料費の計算

#### (1) 品目一覧表に試算単価を入力

本体HNO01を120円から150円に上げて計算しようとする場合、下の図に示すように試算単価の欄に150円を入力する。

	A	B	C	D	E	F
1		品目一覧表				
2	品目番号	品目名	ロケーション	単位	単価	試算単価
3	MA01	製品MA01	X01	個		
4	MA02	製品MA02	X02	個		
5	MB01	製品MB01	X03	個		
6	MB02	製品MB02	X04	個		
7	HNO01	本体HON01	C02	KG	120	150
8	HNO02	本体HON02	C01	KG	80	
9	MOJ01	文字盤MOJ01	B04	KG	50	
10	MOJ02	文字盤MOJ02	B03	KG	50	
11	MOJ03	文字盤MOJ03	B02	KG	50	
12	MOJ04	文字盤MOJ04	B01	KG	50	
13	BND01	バンド鎖BND01	A02	KG	30	
14	BND02	バンド鎖BND02	A01	KG	20	

単価150円で試算するために、このセルに価格を設定

## (2) 試算単価を設定した品目を使用している製品の検索

入力した本体HNO01を使用している製品の材料費は全て変わるので、下の図のように本体HNO01から製品を検索する。

	A	B	C	D
1				
2	使用材料・部品の品目番号	HNO01		本体HNO01
3				
4		NO.	製品の品目番号	製品名
5		1	MA01	製品MA01
6		2	MA02	製品MA02
7		3		
8		4		
9		5		

本体HNO01を使っている製品が全て表示される

## (3) 材料費の計算

製品の検索で表示された製品の中で必要な製品の材料費を計算する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	材料費試算表											
2												
3	製造品目番号		MA01	製造品目名		製品MA01						
4												
5	材料費		230									
6												
7	NO.	ロケーション	使用品目番号	使用品目名				原単位	単位	材料費		
8	1	A02	BND01	バンド鎖BND01				1	KG	30		
9	2	B04	MOJ01	文字盤MOJ01				1	KG	50		
10	3	C02	HNO01	本体HNO01				1	KG	150		
11	4											

品目一覧表の試算単価が読み込まれる

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	材料費試算表											
2												
3	製造品目番号		MA02	製造品目名		製品MA02						
4												
5	材料費		230									
6												
7	NO.	ロケーション	使用品目番号	使用品目名				原単位	単位	材料費		
8	1	A02	BND01	バンド鎖BND01				1	KG	30		
9	2	B03	MOJ02	文字盤MOJ02				1	KG	50		
10	3	C02	HNO01	本体HNO01				1	KG	150		

本体HNO01は共通品目なので、製品MA02にも試算単価が適用される

このように、製品と使用原材料、部品の組み合わせを部品表として登録すると、製品からの展開だけでなく、使用原材料、部品から製品を検索することが出来る。

### <どんなメリットがあったか？>

一番のメリットは、計算の手間が省けたことであるが、上記の説明のように使用している製品を漏れなく検索することができ、計算し忘れてしまう製品が無くなったことも大きなメリットになっている。